

ぱーとなーず

vol. **53**
2021.7

地域とけんみん信組をつなぐ情報誌

<発行所>
山梨県民信用組合 営業統括部
総合相談センター
〒400-0032 甲府市中央1丁目18-6
Tel. 055-233-4176



6月28日(月)「御勅使支店・白根支店」がオープンしました。

山梨県民信用組合は、地域の皆様を応援してまいります。

当組合は、持続可能な
開発目標(SDGs)を
支援しています。



皆様のベストパートナーをめざして
YKS 山梨県民信用組合



ちかくにいるから、
チカラになれる。

御勅使支店・白根支店オープン

オープニングセレモニー

山梨県民信用組合御勅使支店・白根支店が、6月28日(月)に新築オープンしました。
山梨県民信用組合として初めての新築開店であり、地域への貢献が大いに期待されています。
当日は、南理事長、津金支店長があいさつした後、当組合の齋藤理事及び総代を代表して御勅使支店総代の前澤様、白根支店総代の望月様、櫛形支店総代の小林様とともに新店舗入り口でテープカットを執り行い、午前9時の開店となりました。開店後には多くの地元のお客様にご来店いただき、来店プレゼントが渡され、また、開店日から翌日までの間に成約いただきましたお客様には成約記念品が贈呈されました。今後とも、当店のご利用をお願いいたします。



【開店前のテープカットの様子】

新店舗紹介

御勅使支店・白根支店は、県道甲斐芦安線と甲府西バイパスが交差する野牛島西交差点付近の南アルプス市百々に位置しています。新店舗のロビーは吹き抜けとなっており採光が良く、また、ゆったりとした相談スペースを設け、お客様に快適な環境を整えました。また、より便利な設備を整備し、最新の全自動貸金庫が導入されています。

新支店の営業区域は、旧八田村、旧芦安村、旧白根町の地域及び韮崎市旭町、龍岡町、大草町の一部の地域となっています。この地域は、日本三大扇状地である御勅使川扇状地で、ぶどう、すもも、桃、さくらんぼ等の果樹経営が基幹産業となっており、また韮崎市内の営業区域には、御勅使工業団地が広がり、中部横断自動車の開通により、今後の益々の発展が期待される地域です。支店長以下9名の体制で、基幹店からの支援を合わせ、地域を盛り上げていきます。

「御勅使」の由来

「御勅使(みだい)支店」は、御勅使川に由来する店名です。

この地域に「御勅使」という地名はなく、強いて言う「御勅使中学校の学区の地域」ということでしょうか。御勅使中学校は、旧八田村と旧白根町の組合立の中学校で、組合立の中学校の校名には、地域を流れる川の名前がよく使われています。

御勅使川は、平安時代に川が氾濫し、甲府盆地に大きな被害をもたらし、その状況を朝廷に報告したところ、朝廷から勅使(使者)が派遣され、水防祈願したことから「御勅使川」になった、また、勅旨田(天皇の勅旨(命令)により開発され、その収益は皇室経済の財源に充てられた田地)があったからともいわれています。また、「みだい」は、大雨が降ると水が出る川、「み出でる川」、「みでい川」からきたという説や、「みだれ川」からきたという説があります。いずれにしても、この川は常に氾濫をおこしてきており、戦国時代になると、武田信玄が、水の流れる方向を変える「石積出(いしつみだし)」や流れを分流して力を弱める「将棋頭(しょうぎかしら)」、釜無川への「信玄堤」などの施設を作る治水事業を行い、信玄公の政治家としての評価を高めています。



【支店の職員一同】



【全自動貸金庫】



開店記念定期預金

「御勅使支店・白根支店」の開店を記念して、全支店で組合員様限定の優遇金利での定期預金を取り扱っています。

Yamanashi Kenmin Shinkumi
御勅使・白根支店オープン記念
けんみん信組
組合員向け定期預金

預入金額

個人：300万円以上2,000万円以内
法人：500万円以上4,000万円以内

金利

3年固定 0.12%
5年固定 0.15%

新たに組合員となる方も優遇金利適用となります。

お取扱い期間 令和4年3月31日まで



「クレド」策定しました。

山梨県民信用組合では、職員の意識改革やモチベーションアップのため「クレド」を策定しました。クレド(Credo)は、企業全体の従業員が心がける「信条」や「行動指針」のことです。クレドは、ラテン語で「信条」「志」という意味で、あるべき組織像や人間像を言語化したものと言われており、クレドと似たものに「企業理念」がありますが、企業理念が目的地だとすると、クレドは組織が進むべき道を示すコンパス(羅針盤)で、理念を達成するために必要な社員の行動規範を示したものになり、このため、比較的抽象的な表現になる理念と異なり、達成のために企業、社員がとるべき行動を明確に表したものになります。

顧客満足度を最優先とするザ・リッツ・カールトンホテルのクレドは有名で、「世界最高のサービスを提供する」と名高い同ホテルの伝統や文化は、クレドによって作り上げられたといわれています。

当組合のクレドの作成に当たっては、職員に文案を募り、ボトムアップにより1,545案の中から5項目を選抜しました。現在、組合では、すべての店舗において毎朝職員がクレドを唱和し、意識付けを図るとともに、名刺サイズのクレドカードを常に携帯し、クレドに沿った行動に心がけています。

山梨県民信用組合クレド

～ 組合員様や地域の皆様への私たちのお約束 ～

【地域貢献】

「私たちは、常に組合員や地域の皆さまのために何ができるのか提案し、実践に移すことにより地域の発展に貢献します。」

【職場づくり】

「私たちは、やりがいと成長を感じる活気に満ちた職場を創ります。」

【行動指針】

「私たちは、組合員や地域の皆さまに、より良いサービスを提供し続けることを約束します。」

【目標達成への意欲】

「私たちは、目標達成に向け、情熱をもって行動します。」

【コンプライアンスの取組】

「私たちは、組合員や地域の皆様はもとより、家族や友人に説明できないことは決していたしません。」

ATMコーナー新設

南巨摩郡富士川町地内の「DCMくらがねや富士川店」敷地内に新たにATMコーナーを設置しました。ご利用ください。





甲州八珍果




**オーチャード
カフェ
街の駅
やまなし店**

JR山梨市駅目の前の「街の駅やまなし」内にコーヒーとランチの店としてオープンして4年。挽きたてのコーヒーと主に地元野菜や果物を使用した健康的なランチを提供しています。中でも、果物がゴロゴロ入った手作りフルーツカレーやフルーツサンド、「ゆるキャン△」にも登場したフルーツパフェは人気です。緑の芝生と広い空間の中、コロナ対策も万全です。お気軽にお立ち寄りください。

山梨市上神内川1711 TEL.090-4096-2118




(有)山国屋

山国屋は、1910年創業の果物店です。贈答品としてご利用いただける質の高い果物を取り揃えております。特に山梨県産の果物は、生産者からの直接仕入れによって新鮮でおいしい果物を県外発送しております。

甲府市丸の内2-9-10 TEL.055-222-7206




**ふえふき
マスタード**

今年3月にオープンした「ふえふきマスタード」。人気商品は旬のくだものを使った「フルーツサンド」です。春はいちごが一番人気でしたが、夏には桃やぶどうが登場予定。大人気のシャインマスカットも使う予定ですので、ぜひご賞味ください。また店内では、店名になっている手作りマスタードも販売しております。こちらもチェックしてみてください。

笛吹市石和町窪中島196-1 小池店舗101




久保田農園

サクランボの名産地、山梨の南アルプス市でサクランボ農園を営んでいる「久保田農園」。サクランボの品種は全部で8種類あり、旬の時期は品種によって異なりますが5月下旬から6月下旬まで、日頃から地道な手入れを欠かさず綺麗な赤色の実になった糖度のあるサクランボ。是非一度ご賞味ください。

南アルプス市上今諏訪1713 TEL.055-282-2565




**奥野田
葡萄酒醸造
株式会社**

奥野田ワイナリーは甲州市塩山に位置するとても小さなワイナリーです。小さいからこそできる丁寧なワイン造りをモットーに、1.5ヘクタールの自社農園でワイン用葡萄の栽培、葡萄のポテンシャルを最大限に活かしたワイン醸造に取り組んでいます。テロワールの魅力を余すところなく表現したミネラルたっぷりのおいしさをどうぞご堪能ください。秋には、人気のコンフィチュールも出来上がります。ご期待ください。

甲州市塩山牛奥2529-3 TEL.0553-33-9988




**寿風土
ファーム(株)**

【すいか】を親子リレー生産して50年が経ちました。山梨県は【すいか】の生産量が全国47都道府県の中で最下位です。しかしフルーツ王国と呼ばれています。【すいか】山梨県でも【すいか】作ってますと胸を張れるような西瓜を研究に研究を重ね頑張っています。12種類の西瓜、(名水セレブシリーズ4種)、(戦水甘シリーズ5種)、(その他3種)どれもとってもすべて味が違います。あなたが気になる西瓜はどれですか?7月~9月のみ営業です。

北杜市白州町台ヶ原615-7
TEL.090-1801-1025 TEL.0551-35-3884

山梨の果物がおいしい季節です。江戸時代、甲斐の国で生産されていた代表的な果物ブドウ・ナシ・モモ・カキ・クリ・リンゴ・ザクロ・クルミまたはギンナンの八つを「甲州八珍果」と総称しており、古くから山梨の山梨は、おいしい実がなる果樹の栽培が盛んな地域であったことを物語っています。

遡って、奈良時代には既にクルミが献上されていたことが木簡に記されており、平安時代には、ナシが甲斐国の名産品であるとする文書が見られます。江戸時代になると、ブドウ・カキ・ナシが江戸幕府への献上品として珍重され、松尾芭蕉の作とされる「勝沼や馬子も葡萄を喰いながらの句や「甲州みやげに何もちた郡内しま絹ほしぶどう」という里唄があるなどブドウの生産は有名になっていました。

傾斜地が多く、標高差がある地形に加え、降水量が少なく、日照時間が長いこと、さらに昼夜の寒暖差が大きく果物が甘くなる等の地形・気象の条件等により、果樹栽培が盛んな山梨県は、現在ではブドウ、モモ、スモモの生産量が全国一位を誇り、「フルーツ王国」と称してその魅力を広く発信しています。

生産された果物は、国内にとどまらず、海外にも出荷されていますが、家計の食料費の支出でみても、山梨県はブドウは全国一位、モモは全国二位の年間支出の額となっています。

そのまま食べてよし、加工して食べて、飲んでよし、さらに親戚・知人に送ってよし、これからの季節、ぜひ山梨のおいしい果物をみんなで「ご賞味ください」。



「入兆青果」お目見え

甲府市北口にある甲州夢小路に「入兆(いりちよう)青果」がオープンしました。「入兆青果」は、甲府地方卸売市場の青果問屋(株)入兆が出店した青果店で、永年の経験で培った目利きで仕入れた県内の果物や有機野菜等をもとに、東京大田市場から仕入れた、地元スーパーでは手に入らない全国各地の旬の果物、野菜などを取り揃えています。

(株)入兆で仕入れた季節のフルーツを使い老舗の早川ベーカリーで作ったフルーツサンドは、おいしいと大評判で、平日には一日60個、週末には100個限定の商品は、毎日売り切れ状態となっています。また、砂糖不使用で、完熟バナナと八ヶ岳の牛乳で仕上げたバナナジュースは絶品で、人気を博しています。その他、店内には様々な果物のジャムや人気のドライフルーツ、季節野菜のスープ等の果物・野菜に関連した商品が所狭しと並べられています。



【入口の暖簾】



【フルーツサンド】



【バナナジュース】

営業時間 / 10:30 ~ 18:30
定休日 / 毎週水曜日

甲州夢小路

甲州夢小路は、甲府駅北口にある観光施設で、小江戸情緒が息づく明治、大正、昭和の甲府の街並みを再現し、昔日の山梨を感じる事ができます。かつて甲府市天神町で市井の人びとに時を告げた「時の鐘」を再現した鐘楼が目を惹き、シンボルとなっています。甲州夢小路には、飲食店やギャラリー等の店舗が入居し、県内外から大勢の人が訪れています。

入居店舗

- 小さな森の美術館
- 玉屋 天然石・アクセサリー
- 玉屋 油彩画の展示ギャラリー
- Meli-melo di piatto
- 和カフェ 黒蜜庵 きなこ亭
- 和食ダイニング KUU
- 山梨レストラン メリメロ
- くるむ
- 甲府中華そば 徳栄軒
- 甲州ワイン蔵
- l'arca -ristorante italiano-
- 甲州ワイン蔵 Tasting
- 葡萄屋Kofu 甲州夢小路店
- Back Country Burgers 甲州夢小路店
- Trattoria Pachino
- BISCOM Inc.
- Authentic Bar U-ME(ユーム)
- 入兆青果
- ELMO ISOLA
- 台湾茶房
- TODAY RUNNING COMPANY 道がまっすぐ
- 炉端やきとり 鳥のほそ道

お見舞い

新型コロナウイルス感染症が拡大しております。新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に、心からお見舞い申し上げます。

「らく楽キッズ」様に 寄付金を贈呈しました。

山梨県民信用組合と山梨県信用組合協会では、社会貢献活動の一環として、皆様にご利用いただいております信用組合業界のクレジットカード「しんくみピーターパンカード」の収益金の一部を「障がいを持つ子どもとその家族の健全育成」の趣旨に合致した活動を行っている団体に寄付を行っております。

今回は、有限会社武井工務店様が運営する放課後等デイサービス「らく楽キッズ」(代表者 武井博文)様に寄付金を贈呈しました。

「らく楽キッズ」は、障がいをもった子どもたちのための放課後等児童デイサービス事業所で、「らく楽」とは、幸運を意味する「らくく」と満ち足りて明るく楽しく愉快な気持ちの「楽」を合わせた言葉で、全ての人たちが、幸せに満ちて明るく楽しく愉快に元気に過ごしている状態をイメージしており、障がい児と障がい児保護者の意思や人格を尊重しその立場に立った適切な運営を目指しています。

「らく楽キッズ」では、小学生から高校生を対象に、平日は学校の宿題や自由遊び、工作などを子ども自身で時間を決めて行い、日常生活の基本的な生活習慣を身につけたり、公共交通機関を利用して美術館等への外出や、デイサービス「らく楽」との交流を行うなど、障がいをもった子どもたちが地域の中に暮らし、地域住民とともに共生できるための支援を行っています。



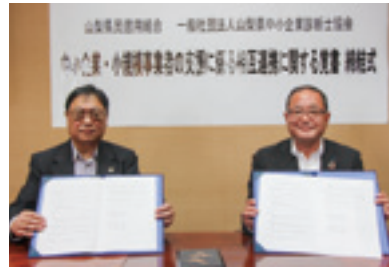
山梨県民信用組合では、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しており、これからも、すべての人々の福祉を促進する取り組みを応援していきます。

【武井施設長と南理事長】

計画づくりを支援します！ ～ 中小企業診断士協会と覚書を締結 ～

中小企業診断士は、国から認められた経営コンサルタントで、企業の成長戦略の策定について専門知識によるアドバイスをし、また戦略実行に当たっての具体的な経営計画を立て、その実行に当たっての支援を行うことを業務としています。

コロナ禍の中、中小企業者が今後の戦略策定や事業再構築補助金の計画策定等をするにあたり専門的知識による支援の必要性が高まっていることから、今般、中小企業診断士協会(藤田泰一会長)と覚書を締結し、支援体制を強化いたしました。



【藤田会長と南理事長】

覚書に基づき、事業者の皆さまの希望がある場合には、当組合から中小企業診断士協会に要請し、適切な人材を派遣していただき、連携して計画づくりの支援等を行うこととしていきます。

今とこれからの効く ～経営戦略再構築～

5月28日、「けんみん信組経営者クラブ」令和3年度第1回経営塾が開催されました。本年度5回の開催が予定されている同経営塾の講師は、昨年度に引き続き(株)ウハウバンク代表の三科公孝先生です。

「今とこれからの効く」経営戦略再構築」と題した講演は、コロナ禍においても業績が伸びている企業の特徴について話から始まり、伸びているのは、伝えること、広報に力を入れている企業で、新型コロナの感染予防対策を動画で配信しアピールしている例があげられました。また、商売の終わりを延ばしている企業も、業績が伸びており、差別化は商品の価格や品質ではなく、アフターフォロー等どこまで商売先に関わるかで図られているそうです。

続いて、コロナ禍の中で、最近、目を惹く情報として、アメリカや中国の木材需要の増加による世界的な木材価格の高騰、飛行機の増便、超高価格の外資系ホテルのオープンをあげ、ウイズコロナではなくアフターコロナを見据えた動きがおこっており、こうした良い情報をいつも収集していることが健康な企業のために必要であることが教示されました。

現在、世界で起こっていることは、リープフロッグ(蛙飛び)現象であり、カエルが一足飛びにジャンプするように大幅にステップアップすることで、遅れた国が既存の技術を経ることなくいきなり最新の技術に到達する状況になっているとして、遅れているとき、悪くなると時にリープフロッグがおこるので頑張ってください。また、今の日本は「経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会」を目指しており、この方向に沿った取り組みは追い風を受けて伸びていく。少子高齢化社会におけるこのだわりの犬小屋や、低食料自給率の中でのおいしいおにぎりの例をあげ、人間を中心にして、社会が抱える様々な課題を解決する切り口で戦略を構築していくことが必要で、儲けと社会への貢献が両立するとしています。

講演の終了後、今年度初めての取組みで「実践SDGs」と題してワークショップが行われ、企業のSDGs取組みの入り口として、それぞれ自分の業界が抱えるもったいことなどの社会問題について各出席者が考え、発表を行いました。



【講演の様子】



【ワークショップの様子】

仲間が選ぶけんみん信組「ベストパートナー」

今回ベストパートナーに選ばれたのは、営業担当の職員がお客様のベストパートナーになれるよう裏方で支えている本部の営業統括部営業企画課 廣瀬課長、長田主幹、小林さんと、法人融資第一課で営業企画課を兼務する小林課長の4名です。

営業企画課は、融資や預金の商品作成、外部からの各種情報収集を行い、営業店にわかりやすく情報提供するとともに、お客様にお知らせするためのパンフレットやチラシ、ポスターを作成しています。また、営業店や営業担当職員の日頃の活動の成果を「見える化」し、営業担当のお客様に対する更なる支援の取組みを促しています。

職員は、多岐にわたる業務に追われる中で、他部署との連携不足や、知識の不足から営業店からの問い合わせに即時に対応できなかったこともあり

りますが、同じ過ちを繰り返さないように日々改善に努めています。

「自分たちで企画した案が承認になり、作成したチラシが営業店で活用され、お客様にうまく説明できていることがわかると大変うれしく思います。また、作成した資料を褒めてもらえた時も充実感があります。」と話していますが、やり甲斐の裏には苦勞もあるようで「チラシや配布物には様々な説明を簡潔に記載しなければなりません。正確であることが当然であり、さらにお客さまへの「気持ち」を乗せた言葉を用意しなければなりません。」また、仕事の環境についても「本部の内部業務に終始していると、お客さまと接する機会が極端に少なくなりますが、営業店にいた時にお客さまからかけていただいた明るい挨拶、感謝や労いの言葉の有難さを痛感しています。」



【左から、小林さん・廣瀬課長・長田主幹・小林課長】

とのことですが、お客さまから感謝のお言葉を営業店の担当者から聞くことを遣り甲斐に感じ、今後もお客様、営業店のために努力していきたいと考えている面々です。



感謝状を贈呈されました。

当組合では、各営業店を管轄する警察署に、強盗事件対策や振り込め詐欺対策の推進状況、反社会勢力等の対応状況について確認をしていただくなど、日頃から警察と連携し、犯罪防止に努めています。過日は、電話詐欺被害防止活動を積極的に推進したなどとして、山梨県警察本部生活安全部長から感謝状が贈呈され、また、警察活動への貢献が認められ、甲府警察署長から南理事長及び山梨県民信用組合に感謝状が贈呈されました。



本誌の
バックナンバーが
ご覧になれます



ご意見・ご感想を
お聞かせください

